記者発表資料

平成２２年１１月１９日
国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所
東日本高速道路(株)東北支社仙台工事事務所

仙台北部道路「利府JCTﾌﾙ化」完成後の交通状況（速報）及び仙台北部道路「利府しらかし台IC～富谷JCT間」半年後の整備効果について

平成２２年１０月２２日に完成した「利府JCTフル化」の交通状況（速報）及び平成２２年３月２７日に開通した「利府しらかし台IC～富谷JCT間」の半年後の整備効果について、下記のとおりお知らせします。

１．【利府ＪＣＴフル化の完成後の交通状況（速報）について】

①利府JCT（仙台北部道路～三陸道・松島方面）の交通量は、１，８００台/日です

・仙台北部道路、三陸道を利用する交通量が**増加**しています。（資料-1）

２．【利府しらかし台IC～富谷JCT間の半年後の整備効果について】

②仙台都市圏高速環状道路（ぐるっ都・仙台）の形成により仙台北部道路の交通量が増加しています

・仙台北部道路（利府JCT～利府しらかし台IC）の交通量は**７，９００台/日**であり、開通半年後で**１２６%増加**しています。（資料-2）

③周辺道路の混雑が緩和しています

・仙台北部道路と並行する（主）塩釜吉岡線の交通量が**１，８００台/日減少**し、走行速度が**９km/h向上**しています。（資料-3）

④輸送時間の短縮により物流の効率が向上しています

・仙台北部道路を利用している製造業、運送業の**約８割**が時間短縮や輸送コストの**縮減効果**があると回答しています。（資料-4）

⑤迅速な血液搬送を支援しています

・仙台北部道路を利用した血液搬送件数が**11件/月→28件/月(2.5倍)増加**しています。（資料-5）

⑥日常生活の行動範囲が拡大しています

・仙台北部道路沿線の住民（仙台市泉区、大和町、富谷町）の**行動範囲**が仙台東部道路沿線にまで**拡大**しています。（資料-6）

※「ぐるっ都（と）・仙台（せんだい）」：仙台都市圏高速環状ネットワークの愛称

※発表記者会：青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、宮城県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

（お問い合わせ先）
国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
TEL　０２２－２４８－４１３１
副　所　長　佐藤（さとう）　寿昭（としあき）（内線２０５）
調査第二課長　馬場（ばば）　裕之（ひろゆき）（内線４５１）
東日本高速道路(株)　東北支社　仙台工事事務所
TEL　０２２－２４８－４５５２（代）
工務課長　上山（かみやま）　満（みつる）

【利府JCTフル化の交通状況】

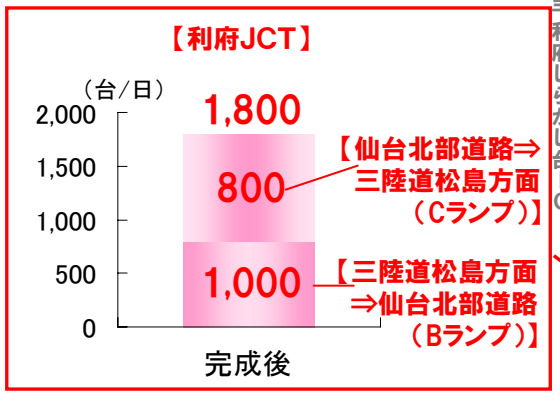
（資料－1）

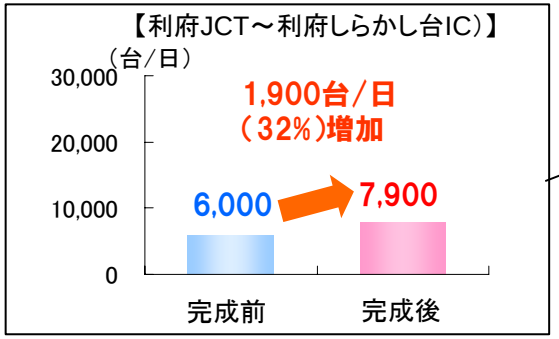
利府ジャンクション（JCT）のフル化により ①利府JCT（仙台北部道路⇔三陸道・松島方面）の交通量は1，800台／日です

仙台北部道路、三陸道を利用する交通量が増加しています。

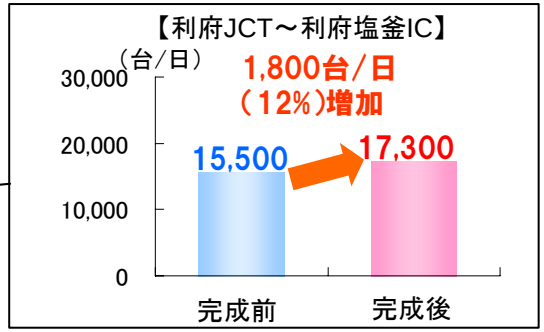
●利府JCTのフル化完成後、仙台北部道路⇔三陸道・松島方面を利用する交通量は、1,800台／日です。
●開通前に比べ仙台北部道路（利府JCT～利府しらかし台IC）の交通量が1,900台／日（32%）増加、
三陸道（利府JCT～利府塩釜IC）の交通量が1,800台／日（12%）増加しています。











出典：NEXCO東日本交通量データ
完成前：H22.10.15（月）～21（日）、
完成後：H22.10.23（土）～29（金）
上記期間の日平均交通量

▲利府JCTフル化に伴う交通量の変化

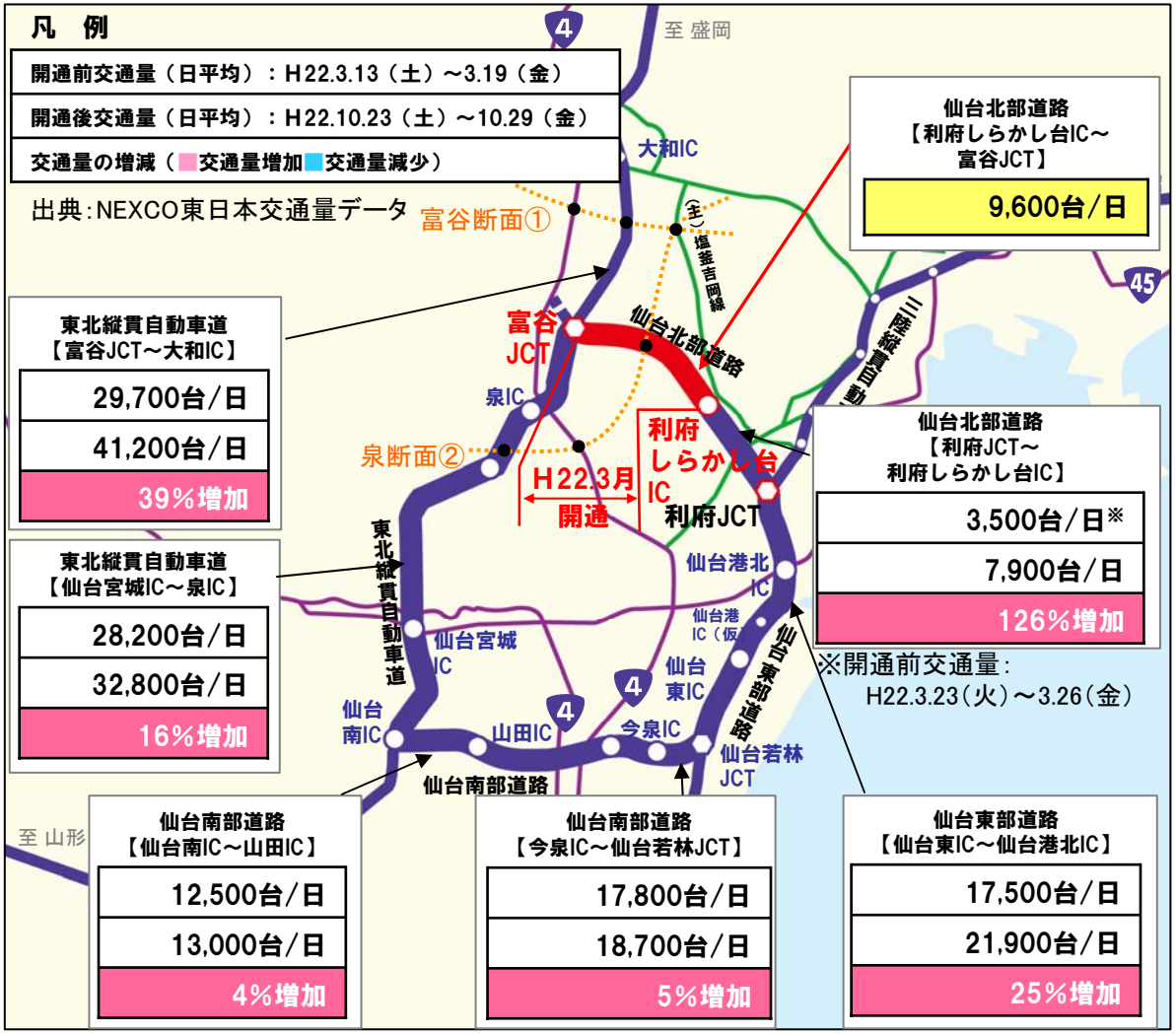
【仙台北部道路半年後】

仙台北部道路（利府しらかし台～富谷JCT）開通により
（資料－2） ②仙台都市圏高速環状道路（ぐるっ都・仙台）が形成され交通量が増加しています

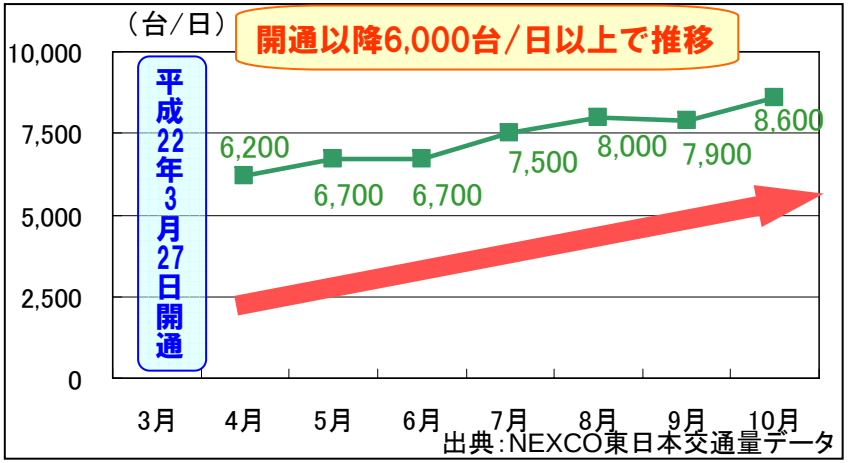
仙台北部道路（利府JCT～利府しらかし台IC）の交通量は7，900台／日であり、開通半年後で126%増加しています。

●仙台北部道路の開通により、仙台都市圏高速環状ネットワークが形成され、仙台北部道路（利府JCT～利府しらかし台IC）の交通量は7，900台／日、仙台東部道路（仙台東IC～仙台港北IC）の交通量が25%増など利用交通量が大きく増加しています。

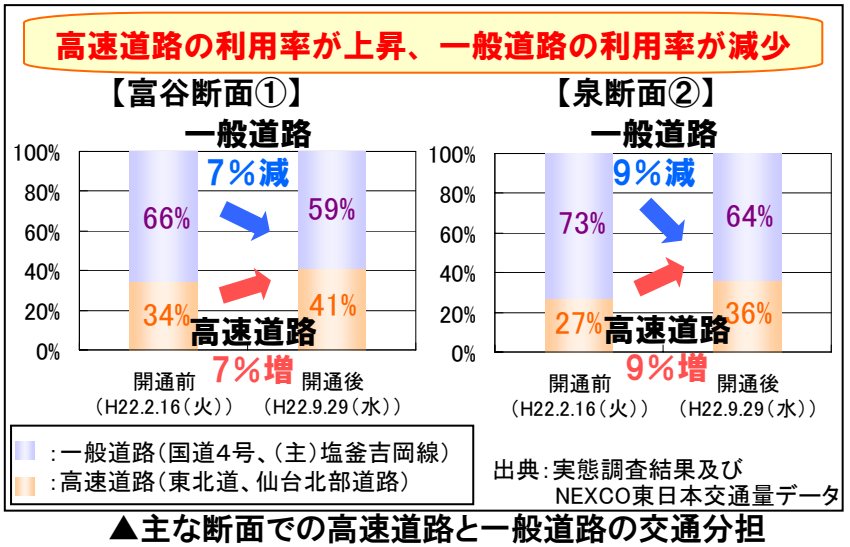
●仙台北部道路等の交通量増加により、周辺地域では一般道路から高速道路へ交通が7～9%程度転換するなど、一般道路の負荷が低減しています。



▲都市圏高速環状道路の主要区間別交通量の変化（日平均）



▲仙台北部道路（利府しらかし台IC～富谷JCT）月平均交通量の推移



▲主な断面での高速道路と一般道路の交通分担

【仙台北部道路半年後】
（資料－3）

仙台北部道路（利府しらかし台～富谷JCT）開通により ③周辺道路の混雑が緩和しています

仙台北部道路と並行する（主）塩釜吉岡線の交通量が1，800台／日減少し、ピーク時の走行速度が9km／h向上しています。

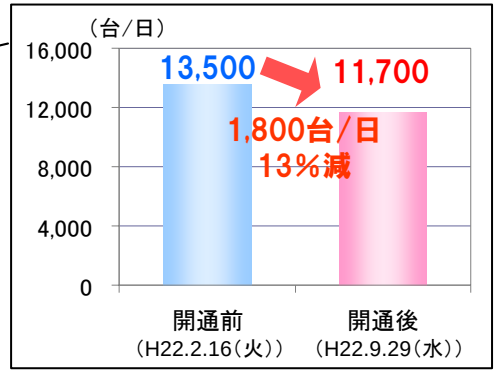
●仙台北部道路の開通後、並行する国道4号の交通量が900台／日、（主）塩釜吉岡線の交通量が1，800台／日減少しており、仙台北部道路へ交通が転換しています。

●国道4号や（主）塩釜吉岡線では、ピーク時の走行速度も7～9km/h向上し、周辺道路の混雑が緩和しています。

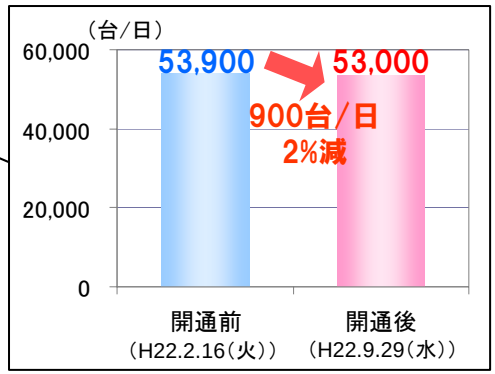


▲周辺交通量の変化

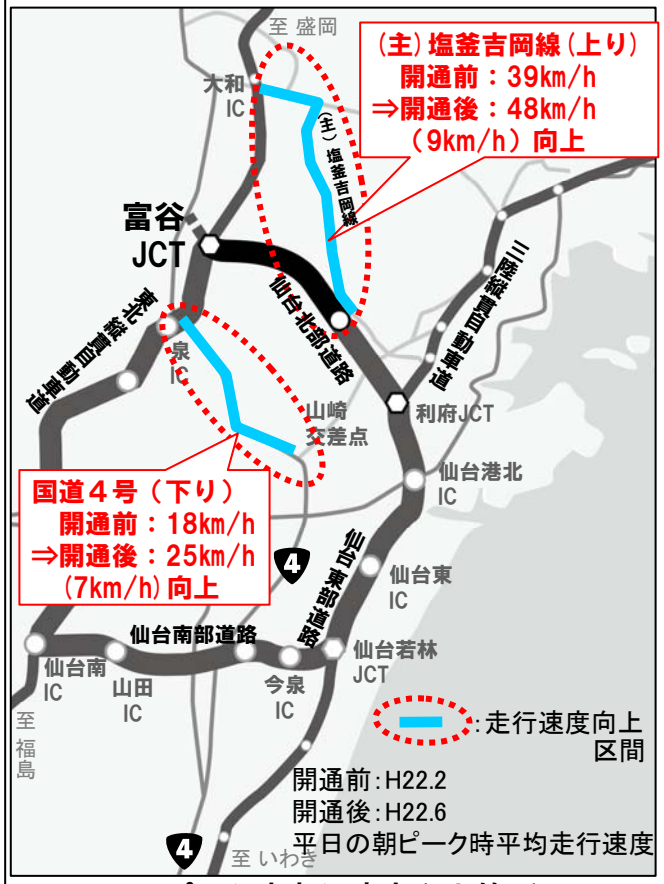
【❶（主）塩釜吉岡線】



【❷国道4号】



出典：
①（主）塩釜吉岡線（大和町鶴巣幕柳）交通実態調査
②国道4号（仙台市泉区七北田）交通量データ



▲ピーク時走行速度向上箇所

出典：民間プローブデータ

【仙台北部道路半年後】
（資料－4）

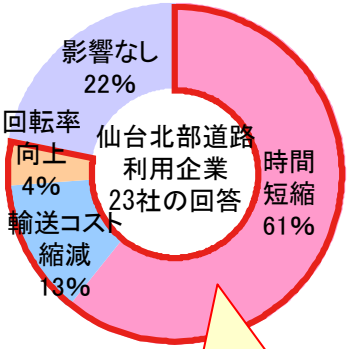
仙台北部道路（利府しらかし台～富谷JCT）開通により④輸送時間の短縮により物流の効率が向上しています

アンケート結果より、仙台北部道路を利用している製造業・運送業の約8割が時間短縮や輸送コストの縮減効果があると回答しています。

●仙台北部道路を利用している企業の約8割が時間短縮や輸送コストの縮減等の効果を感じています。
●自動車輸送企業等では、輸送時間短縮や人件費の抑制につながっています。

■企業アンケート結果

◆仙台北部道路の開通による影響



企業の約８割が効果を実感

出典：企業アンケート調査

◆その他の影響

- **緊急時の対応が可能**
- **時間信頼性が向上**
- **経路の選択肢が増加**
- **安全性が向上**



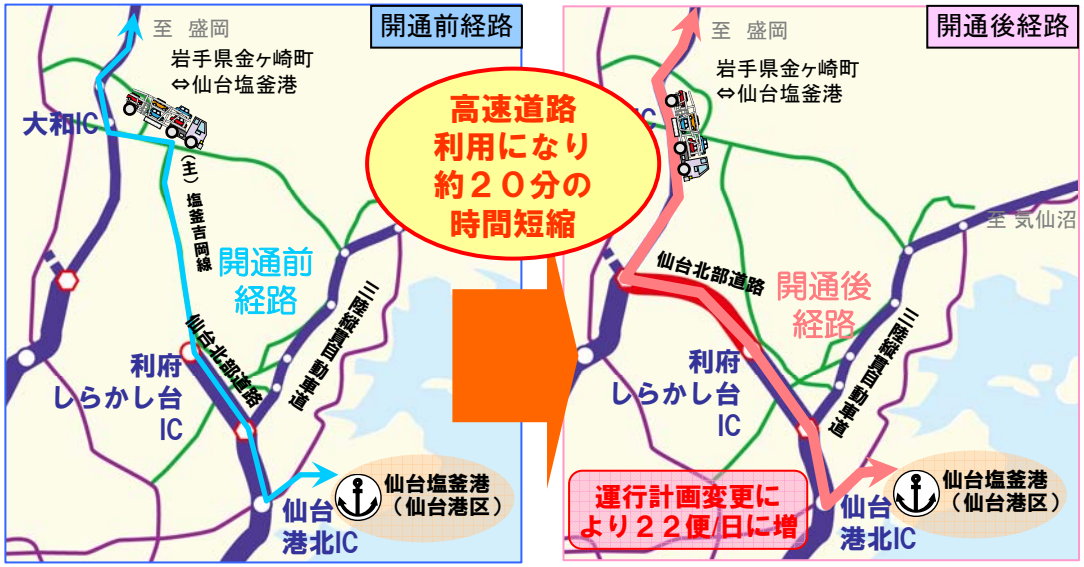
▲仙台北部道路を利用している企業

＜企業アンケートの概要＞
宮城県内外の製造業、運送業を対象に北部道路の利用実態について122社にアンケート調査を実施し、46社から回答をいただき、23社が仙台北部道路を利用。

■仙台北部道路の開通による効果事例

【自動車輸送企業への効果例①】

・完成自動車を輸送するA社では、運行計画の変更により輸送便数を増加しましたが、北部道路利用へ輸送経路を変更したことにより、**約20分の時間短縮**につながりました。



出典：A社（自動車輸送業）企業アンケート調査

【その他企業への効果事例②】

・仙台北部道路を利用する経路変更により、輸送時間が往復で大きく短縮し、**人件費が抑制　（年間約200万円）されました。**

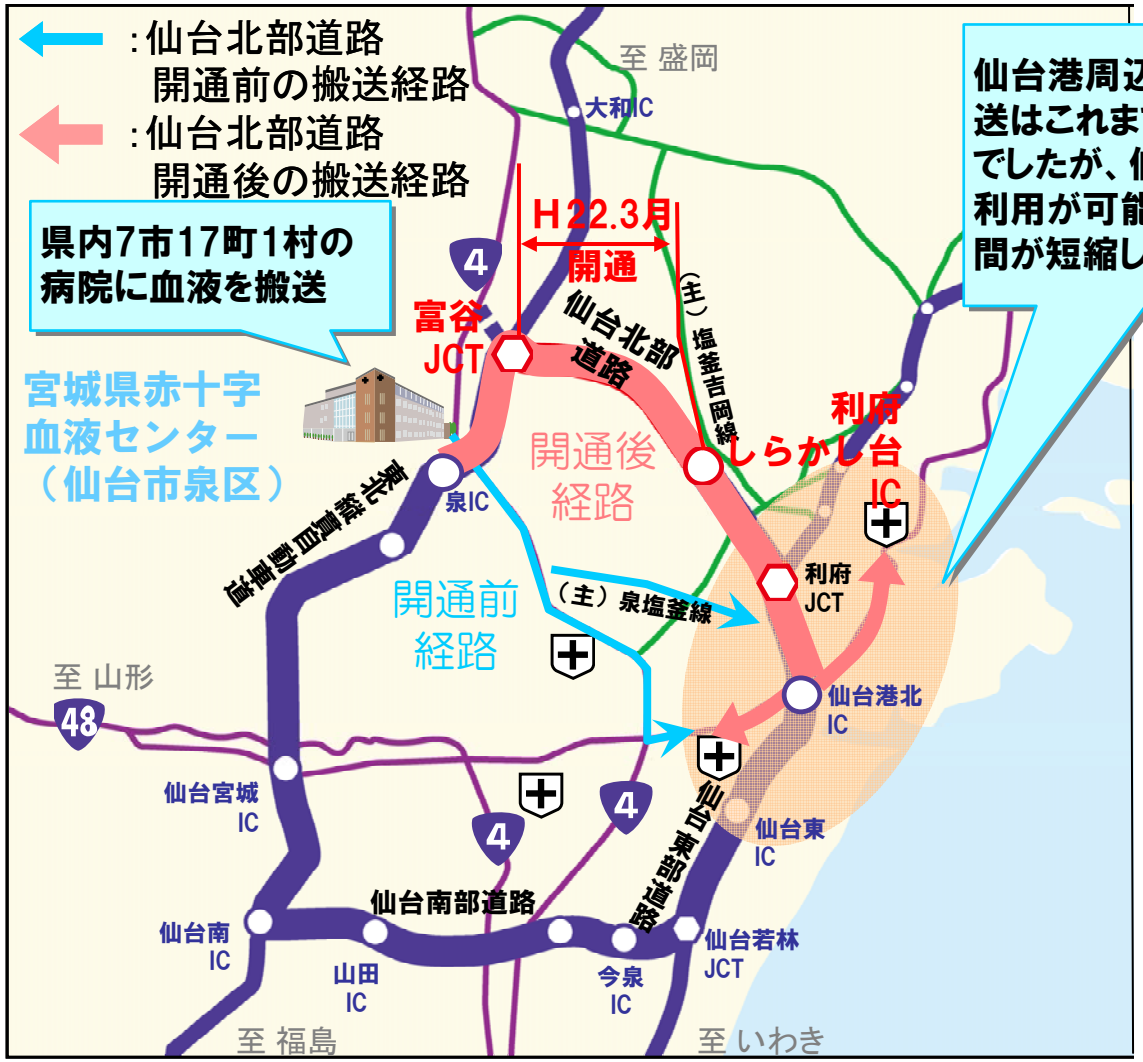
出典：B社（石油類・鉱物類卸売業）企業ヒアリング調査

【仙台北部道路半年後】
（資料－5）

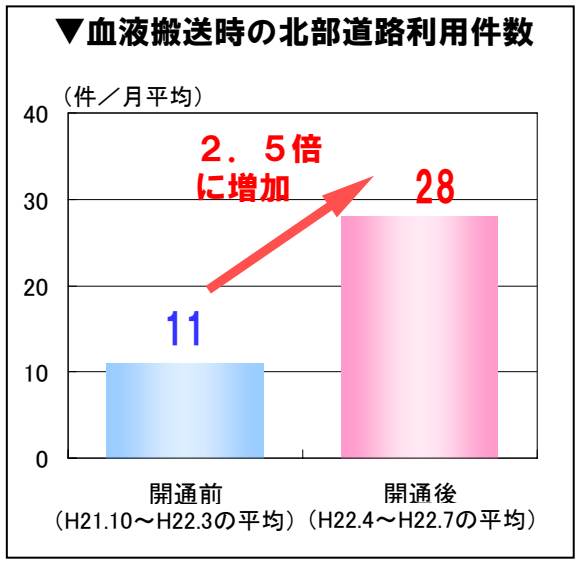
仙台北部道路（利府しらかし台～富谷JCT）開通により ⑤迅速な血液搬送を支援しています

仙台北部道路を利用した血液搬送件数が11件／月→28件／月（2．5倍）に増加。

●仙台北部道路の開通半年後、宮城県赤十字血液センターから、仙台北部道路を利用した血液搬送が11件／月から28件／月（2．5倍）増加し、仙台港北IC付近の病院への搬送が仙台北部道路を利用した経路になり、時間短縮、安定搬送につながっています。



出典：宮城県赤十字血液センター



【血液センターの声】

・仙台港北IC周辺の病院への搬送は、富谷JCT～しらかし台IC開通前は、国道4号⇒（主）泉塩釜線（免許センター前）あるいは国道45号⇒仙台港北ICを通っていましたが、開通後は**泉IC⇒仙台港北ICを利用しています**。
その結果、病院までの**搬送時間を短縮**することができました。

出典：宮城県赤十字血液センターヒアリング

【仙台北部道路半年後】
（資料－6）

仙台北部道路（利府しらかし台～富谷JCT）開通により ⑥日常生活の行動範囲が拡大しています

仙台北部道路沿線の住民（仙台市泉区、大和町、富谷町）の行動範囲が仙台東部道路沿線にまで拡大しています。

●仙台北部道路開通後、日常生活での仙台北部道路の利用者は、55%が買い物目的となっています。
●仙台北部道路開通後に日常生活での利用者の42%が移動先を変更し、そのうち79%が「仙台北部道路による行動圏（範囲）の拡大」を理由としており、生活行動に変化をもたらしています。

■仙台北部道路利用者アンケート結果

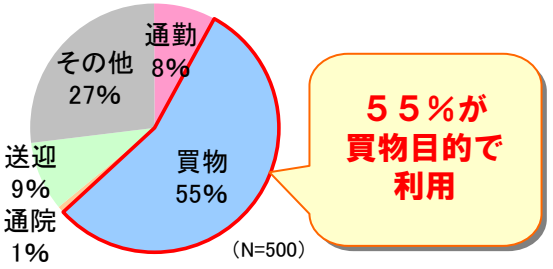
◆移動先を変更した理由

仙台北部道路の開通により行動圏（範囲）拡大となった	行きたい場所が沿線に進出した	目的地が移転した	その他
164/208（人） 79%	17/208（人） 8%	42/208（人） 20%	7/208（人） 3%

※複数回答

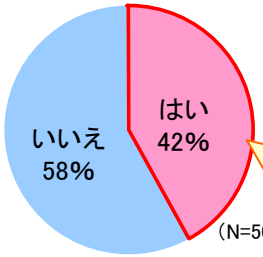
仙台北部道路の開通により行動範囲が拡大した

◆仙台北部道路開通後の日常生活での利用目的



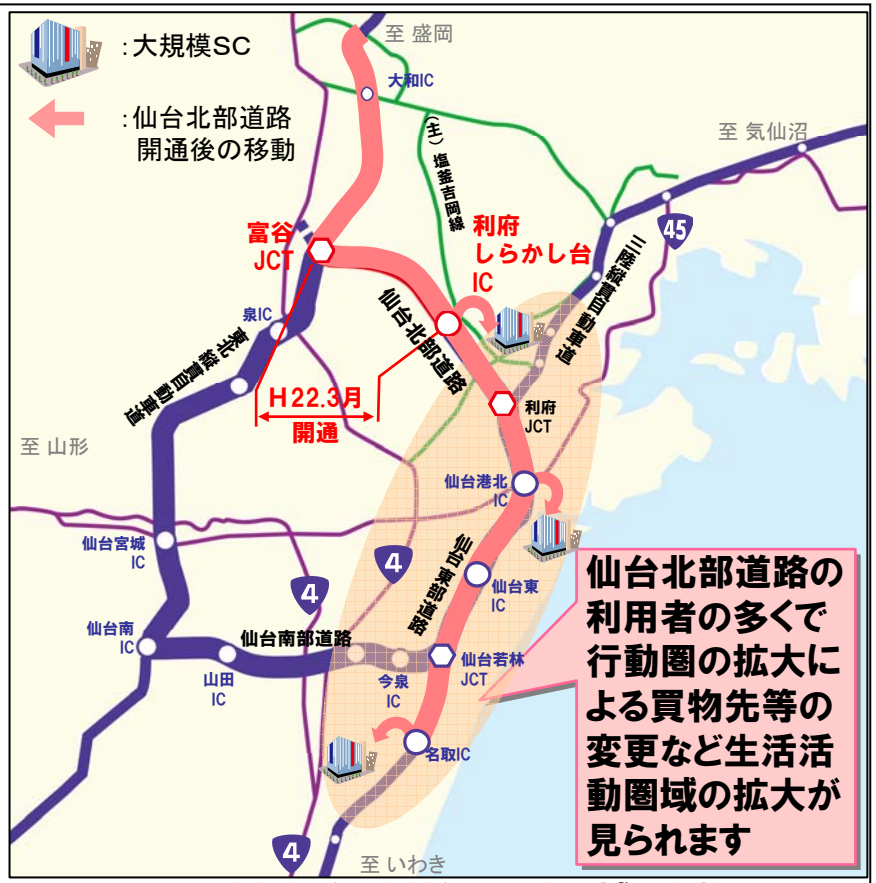
５５%が買物目的で利用

◆仙台北部道路開通後、移動先（買物先等）を変更したか



仙台北部道路利用者の４２%が移動先を変更

出典：宮城県居住者で仙台北部道路利用者（業務・観光での利用者を除く）を対象としたアンケート調査



▲移動先（買物等）の行動圏域拡大状況

【ショッピングセンターの声】
・秋田県・岩手県・青森県ナンバーの割合の変化が若干増加しました
・仙台北部道路が開通したことにより案内がしやすくなり、誰にでも最寄ICを教えられるようになりました
出典：仙台北部道路沿線のショッピングセンターヒアリング調査

＜仙台北部道路利用者アンケートの概要＞
宮城県内居住者（18歳以上）で、仙台北部道路を日常生活で利用した500名を対象に、仙台北部道路の生活面への影響についてアンケートを実施。